



## ご挨拶

会長 池山 昭夫(D32)

緑会の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。このたび、加地前会長に引継ぎ伝統のある緑会の会長に選任されました。微力ではありますが当会の発展に尽力したいと存じます。

さて、皆様すでにご存じのように、母校は平成16年度から独立法人化され、学科名も第一部が生命・物質工学科に、第二部は物質工学科にそれぞれ改変され新たな体制で発足しております。さる2月18日に名古屋市公会堂で開催されました緑会恒例の行事である「(新卒業生と企業の先輩との)懇談会」の折りに、ご臨席を賜った松井学長および荒木学科長の

ご挨拶で「新しい理念のもとで、新体制下における学内の改革は着実に進められている」という趣旨のお話があり、非常に心強く感じました。

このような学内の変革の進展にあわせ、緑会も、活性化を図る目的で検討された各種委員会での活動をさらに推進すると同時に、本学創立100周年記念の諸行事へ、学内の先生方をはじめ、役員、幹事の皆様のご協力を得て積極的に参画をしてゆく所存です。会員の皆様には引き続き格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶

幹事長 水谷 榮一(D40)

緑会会員の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年の総会で幹事長という大役を仰せつかり、戸惑いながらも先輩諸兄のご指導を頂き進めてまいりました。平成16年度の緑会行事である総会、常任幹事会、「講演会・懇談会」についても学内諸先生方の多大なご協力を頂きました。これもひとえに会員諸氏のご支援・ご協力の賜と深く感謝しております。また、昨年の『炎』で寄付金を募りましたところ、約240名の会員様より、100万円に上る貴重な資金をお寄せ頂きありがとうございます。今年11月は開学100周年の年であり、多くの記念事業が挙行されます。会員諸兄のご支援により是非とも成功裏に導いていただきたくご協力を願います。

緑会は、明治41年3月(97年前)に名古屋高等工業学校色染科から今年の新卒業生に至る生存者約6000名を会員とする名古屋工大化学系の同窓会組織です。(卒業時終身会費を納入いた

だいています)。緑会の主な活動は、①毎年2月に企業の諸先輩・卒業予定者・在校生・学内各研究室の諸先生・緑会会員の方々を一堂にお集まりいただく『緑会：講演会・懇談会』②毎年6月には『緑会：総会・懇親会』を企画し、それぞれの会では、会員の方々より貴重な講演をお願いしております。さらに、本誌緑会ニュース『炎』を会員の皆様に送付し、学内の情報を提供しております。また、会員名簿の作成、ホームページの活用、趣味同好会など多くの活動を行なって、会員同士の親睦と情報交換の場を提供しております。会員の皆様も是非この場を積極的に活用していただき、職場では得られない情報収集・自己研鑽に役立てていただきたいと思います。

今後は、インターネットを利用して経費節減を図りながら活動していきたいと思っていますので会員諸氏の更なるご支援をお願い致します。

### 平成17年度緑会総会のご案内

下記の通り開催しますので出席を予定の方は6月10日(金)までに下記担当者まで連絡願います。

日時：平成17年6月25日(土) 14時

場所：名古屋工業大学 2号館1階F1教室

1. 総会、講演会 (14:00~16:20)

総会議事

大学近況報告

学術講演「アメリカの原子力とのお国柄は？」

岡本弘信氏(D42) 石川島播磨重工業株式会社

エネルギー・プラント事業本部 技監

2. 懇親会 (16:30~18:00)

場所：名古屋工業大学学生会館3階第5,6集会室

会費：4,000円(当日徴収)

連絡先

466-8555 昭和区御器所町 名古屋工業大学

つくり領域 加藤禎人

TEL 052-735-5242 FAX 052-735-5255

Email kato.yoshihito@nitech.ac.jp

### 緑会会誌「炎」に関するお知らせ

膨張する卒業生、縮小する会費収入のため、財政上の理由により次年度より、以下の措置を取らせていただきます。何卒ご了承願います。

1. 平成18年度(次年度)

D61以降の卒業生の皆様には炎の発送を中止させていただきます。下記サイトを参照していただきます。

<http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/index.html>

会誌に関する情報は網羅しています。

2. 平成19年度

D50以降の卒業生の皆様には炎の発送を中止させていただきます。上記サイトを参照していただきます。

上記緑会ホームページは逐次更新しておりますので最新の情報が得られます。学科のホームページ、名古屋工業会のホームページにもリンクしています。

都合で上記サイトを閲覧できない方は左記担当者までご連絡下さい。

## ご挨拶

生命・物質工学科教育類長 田中 俊樹

緑会の皆様におかれましては時下ますますご清栄のことと存じます。昨年4月より国立大学は法人化され、名古屋工業大学も国立大学法人となり新しい一歩を踏み出しました。大学も事業として考えることが要求されてきています。名古屋工業大学は、今年創立100周年を迎え輝かしい足跡を残し、さらに次の100年に向けて新たな第一歩を踏み出す事になります。奇しくもこの年に19号館の改修も始まります。17年度は東半分、次年度に残り西半分で、2年後には19号館が新しく生まれ変わる予定です。

昨年度より学科の改組が行われ新プログラムで授業を始めています。生命・物質工学科では、化学をベースにしっかり教育することを念頭においています。昨今、化学系より生物系に人気があることはご承知のことと思います。しかし、我々の体を見てもわかりましようにすべて化学物質からできています。炭素、酸素、窒素、硫黄、リン、無機イオンなどで化学物質を作り、これらが体の中で相互作用、化学反応をしてエネルギーを作り、我々が生きるための全ての営みを行っています。すなわち生物を理解するには化学の知識が重要であります。化学を理解した上で生物を理解することが今後さらに重要になるように思われます。勿論、化学は直接産業に応用され、我々の生活に役立っています。したがって、

化学をそのものをしっかり勉強することは言うまでもありません。私は何か機会あるごとに化学の重要性を説いていきたいと考えています。これから受験生が減少し、もうすぐに受験者数と大学の定員が同じになると言われています。受験生にとっても魅力のある大学にしたいと考えています。また、先程の新聞紙上で中、高校で2極化が進んでいると報道されていました。大学、大学院でも同様です。全員高い目的意識を持ってさらに上を目指して勉強をする環境をつくり、しっかり学生を教育し、社会に受け入れられるような人材を育てる必要があると感じています。

昨年度は永らく本学科のためにご尽力されました内田哲男教授がご退職されました。一方、堀克敏助教授、川崎晋司助教授が着任いたしました。私が着任して4年になりますが、この間に本教育類の教員もかなり若い世代へと替わりました。今年度からも、旧応用化学科以来本教育類の発展にご尽力を尽くされた先生方が次々にご退職されていきます。丁度今が時代の節目となっている印象です。今後、各教員と助け合ってさらに活発に活動し、学生に対する教育をしっかり見据え、良い学生を多く輩出できるように精進していきます。

緑会の皆様におかれましては、引き続きかわらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## ご挨拶

生命・物質工学科副教育類長(就職担当) 多田 豊

緑会の皆様には日頃より本学や本学科へのご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。また、私は本年度就職担当をさせていただいていますが、その面でも皆様方にはたいへんお世話になっており、御礼申し上げます。

これまでに多くの会社から求人に関してご訪問いただいています。今年度は採用数を少し増やされたところや、採用数は同じであるが、事務系の採用を少し減らして、技術系の採用を増やされたところがかかなりあります。これは経済状況が少し上向いてきたためと、2007年に団塊の世代が退職され、それを補うためであるようです。技術系の採用数が増えていることは、応募する学生から見ると有利なことですが、会社としては厳しい競争に勝つために、当然のことながら、できるだけ優秀な人を採用しようとされます。自由応募においても学校推薦においても、人物本位で採用され、推薦があっても合格するとは限らない、厳選採用であると言えます。

それでは優秀な人とはどういう人を意味するのでしょうか。卒業生の方々はよくご存じかとは思いますが、企業から求められる人材は、「成績がよいのに越したことはないが、それよりも、意欲的な人、元気な人、自分の意見をしっかりとと言える人、皆と一緒に仕事ができる人、リーダーとなれる人」です。これらの優秀な人のもっている能力はすぐには身につくものではありません。学生は学部や大学院でいろいろな講義、演習、そして実験を履修し、そういう科目に関する知識

を修得しますが、知恵とも言える先にあげた能力は、卒業研究や大学院での特別研究を行う際に身につけることができるのではないかと思います。行っている研究のこれまでの背景や目的をしっかりと理解し、どこに問題があるのか、それを解決するにはどうしたらよいかを考え実行し、得られた成果を整理し、わかりやすく発表する。また、所属する研究室にいる仲間や先輩をまとめたり、ときには指導する。これらのことにより、研究意欲が湧き、状況把握、問題発見、問題解決、まとめる、指導する、育てるといった能力を養えるのではないかと思います。

私たち教員はそういう学生を育て、社会に送り出そうと思えます。学生の皆さんには、研究を通してそのような能力を身につけ、社会の一員として、よりよい社会を創るために活躍してほしいと思います。そして、卒業生の皆様には、そのように育った学生を是非とも社会の一員として受け入れていただき、さらにご指導くださいますようお願い申し上げます。

本学科の同窓会である緑会は非常にしっかりとした、それでいて暖かい組織だと思います。よりよい学生を育てるために、大学、学科、教員、そして学生に対してご意見がございましたら、是非お聞かせいただき、これからもご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

最後に皆様方のご健康と益々のご発展をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

### 教官の異動 (2004. 4月以降)

定年退職	平成17年3月31日	内田 哲男 教授
昇 任	平成17年4月1日	池田章一郎 教授
新 任	平成17年4月1日	大谷 肇 教授

## 就任挨拶

### 教授 大谷 肇

平成17年4月1日付けでながれ領域、物質工学専攻(分析化学担当)の教授に着任しました。私は生まれも育ちも名古屋で、そのまま今日にいたりましたが、それなりに都会で、気候風土もほどほどに住みやすい名古屋には愛着があります。その一方で、前任校の名古屋大学では、学生時代から通算す

るといつのまにか30年近くを過ごしてしまい、最近では正直なところ閉塞感があり、新転地に変わりたいという思いが年々強くなっていました。このたび、幸運にもこの矛盾した両者の思いを実現できる場を与えていただき、大変感謝しております。今後は、大学の最大の使命である、次世代を担う人材の育成に最善をつきしたいと思っておりますので、ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

## 平成16年度卒業生就職先一覧

### ●博士後期課程●

本田 泰隆	デル(株)
三輪 聡	日本エスジーアイ(株)
王 利波	中国
加藤 勇治	
加藤 貴志	

### ●博士前期課程●

鈴木 伸和	アイシン精機(株)
西川 知秀	アイシン精機(株)
中原 悠希	アイシン高岳(株)
後藤 康正	アイセロ化学(株)
山根 祐介	旭硝子(株)
中村 展歩	(株)アドマテックス
山田 裕一	(株)イーテック
安井 則生	石塚硝子(株)
日比野 竜也	石原産業(株)
福本 尚吾	出光興産(株)
水谷 洋介	(株)I N A X
吉田 治樹	宇部興産(株)
大矢 祥子	エスティー・エルシーディ(株)
大塚 耕司	(株)カーネルコンセプト
野崎 大	キャノン(株)
岡崎 裕輝	グンゼ(株)
大中 健司	コニシ(株)
古川 昌良	小林記録紙(株)
河野 順二	サンスター技研
加藤 寛親	(株)三洋堂書店
廣瀬 智史	十全化学(株)
稲垣 良憲	寿がきや食品(株)
北 健史	セイミケミカル(株)
宮本 豪	綜研化学(株)
三井 将成	ダイトーケミックス(株)
高橋 佑輔	大日本インキ化学工業(株)
鈴木 賢	大和製罐(株)
松永 光晴	竹本油脂(株)
竹中 陽子	(株)中電シーティーアイ
角谷 公宏	(株)ティーアイビーシー
新庄 真人	東亜合成(株)
芥川 和彦	(財)東海技術センター
岩田 寿文	東海染工(株)
常法 道俊	(株)東海理化
村上 陽祐	(株)東海理化
福田 一也	東洋電波(株)
堀場 浩介	豊田工機(株)
橋本 友香	豊田工機(株)
渡辺 憲治	豊田合成(株)

川嶋 教孔	豊田合成(株)
斉藤 尚裕	トヨタ自動車(株)
篠崎 数馬	豊田中央研究所
中野 雄介	豊田鉄工(株)
北條 奨	トヨタ紡織(株)
三好 達也	日亜化学工業(株)
戸谷 裕明	ニチハ(株)
福本 不比斗	日産化学工業(株)
前田 憲	日進乳業(株)
三井 数馬	日東電工(株)
太田 光浩	ニプロ(株)
水野 辰夫	日本特殊塗料(株)
加藤 琢麻	日本油脂(株)
小椋 麻美子	パイロットインキ(株)
梅本 寛	パイロットインキ(株)
石原 基裕	林テレンプ(株)
松原 寛男	林テレンプ(株)
田中 孝明	日立化成工業(株)
上平 将範	富士高分子(株)
岩永 恵理	富士通SCMシステムズ(株)
舘 一徳	ブラザー工業(株)
小川 智丈	ブラディッシュ(株)
榊原 久雄	本田技研工業(株)
林 亜由美	MARUWA(株)
尾上 亮太	(株)マルワ
野村 聡司	三菱樹脂(株)
渡辺 祥子	三菱レイヨン(株)
下山 達矢	矢崎総業(株)
大西 卓	ロンビック(株)
湯澤 賢	東京大学大学院
名古屋工業大学大学院	
柴田 幹大	中川 勝統
矢野 卓真	石丸 剛久
名古屋工業大学研究生	
加賀 啓太	
未定	
原田 俊之	大河内洋子
久永 真央	成田 鎮人
	中尾 祥章

### ●第一部●

三國 康貴	アイコクアルファ(株)
近間 美緒	(株)アベックス
菅 英喜	伊藤製油(株)
伊藤 大地	NTN(株)
西 健太郎	エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)
高梨 涼子	(株)オービック
中川 裕樹	(株)グッドマン
小林 祐太	(株)クレスト

小島 佑香	経済産業省中部経済産業局		
二宮 由貴	ゴムノイナキ(株)		
湯川 将吾	三幸グループ		
四宮 皓之	三光ソフラン(株)		
服部 卓郎	(株)三和スクリーン銘板		
土井 香菜子	J A 共和連石川		
三好 実	J S R (株)		
河村 拓	(株)ジャパンアウトソーシング		
岩田 賀門	(株)ジャパンアウトソーシング		
玉村 早希	大洋薬品工業(株)		
及部 嘉英	中外製薬(株)		
高石 康広	(株)T I B C		
青野 陽江	テイボー(株)		
千羽 圭吾	東海興業(株)		
丸山 智美	東海労働金庫		
大橋 美紀	トヨタ車体(株)		
森 章徳	トヨタ車体(株)		
松元 亮介	トヨタ紡織(株)		
尾関 紗千子	名古屋市		
長井 眞之	日華化学(株)		
榊原 千夏	(財)日本食品分析センター		
渥美 泰軌	日本シャーウッド(株)		
河尻 学	フジパン(株)		
中尾 悦子	扶桑薬品工業(株)		
岩田 俊介	フタムラ化学(株)		
新井 崇正	マルスン(株)		
岩田 吉広	宮脇グレイス工業(株)		
河本 俊也	明成化学工業(株)		
小口 雅央	九州工業大学大学院		
カニヴァスティヴィンキャロ	京都大学大学院		
明永 舞子	静岡大学大学院		
鈴木 義貴	東京工業大学大学院		
石井 琢也	奈良先端技術科学大学院大学		
斉藤 卓也	福井大学大学院		
碓井 宏樹	専門学校進学		
名古屋大学大学院			
舘 勇希	古田 行識	上利 真司	
瀬見井 純	安藤 将史	川鍋 光慶	
櫻井 勇希			
名古屋工業大学大学院			
岩田 吏史	畑谷 俊晴	稲熊 麻美	
吉川 文隆	坂井 友晴	榊原 大介	
辻 匡佑	池田 大亮	川鍋 陽	
原 武司	松本 達成	渡邊 新史	
磯波 学	関 琢磨	金子 由香里	
田村 彩	稲垣 知宏	遠山 晴彦	
梶丸 憲治	細川 祐次	藤田 憲人	
宮田 俊介	平松 直人	安西 基裕	
各務 有紀	三田 眞之	大黒 裕介	
海田 昌憲	細川 了平	長野 恭平	
樋江井 貴雄	國兼 成充	金川 佳生	
佐々木 研二	大竹 直美	田口 陽介	
宮田 勇悟	中澤 亮	安江 展子	
河戸 春樹	山本 眞梨子	中根 大輔	
辻村 怜子	田嶋 洋輔	今井 竜哉	

舟越 靖	前田 真之介	池田 寛之
伊藤 慎吾	奥田 歩	河村 卓治
今井 健太	杉浦 隆太	浅岡 高英
大谷 隆徳	中島 光康	小川 眞一
島津 圭佑	高井 和美	平田 宜寛
杉浦 雅祥		
名古屋工業大学研究生		
河合 孝則	辻 誠	
未定		
水野 崇博	松浦 秀俊	加藤 圭則

## ●第二部●

中木 さちこ	(株)アイ・メッツ	
市川 岳正	愛知時計電機(株)	
前野 真男	イイダ産業(株)	
柳澤 龍也	イビデン(株)	
杉山 智子	イビデン樹脂(株)	
手島 未琴	(株)ADKアーツ	
平野 弘晃	平野自転車商会	
岡崎 直人	港南特殊産業(株)	
伊藤 将人	川崎重工業(株)	
臼井 三起也	愛知県瀬戸窯業高等学校	
石原 陽介	花市電子顕微鏡技術研究所	
入口 拓行	日本ステリ	
中田 晃二郎	小松精練(株)	
村瀬 あゆ美	(株)三進製作所	
村井 紀和	(株)サンテック	
鎌田 寛之	(株)システムリサーチ	
伊藤 浩也	寿がきや食品(株)	
今枝 政貴	スギムラ化学工業(株)	
酒井 宏幸	中央化工機(株)	
岸名 匡彦	(株)テクノ中部	
三田村 顕司	東海油化学商事	
岡田 佑介	ナゴヤセーレン(株)	
林 智博	日研総業(株)	
河瀬 神輔	馬場酸素(株)	
伊藤 潤	(株)フジミンコーポレーテッド	
近藤 悠加	ポパール興業(株)	
山口 貴生	宮脇グレイス工業(株)	
遠藤 裕	ユケン工業(株)	
藤木 昌子	理研産業(株)	
齋藤 航	金沢大学大学院	
宮地 里奈	名古屋医療センター付属看護助産学校	
名古屋大学大学院		
長嶋 真琴	馬場 開一	伊藤 彰
名古屋工業大学大学院		
川合 大輔	大西みよこ	山本 剛嗣
宮本 雅博	長野 伸一	
名古屋工業大学研究生		
伊神 清弘		
未定		
絹川 久美子	土井 康行	佐藤 美沙
鈴木 佑貴	五味潤 大介	佐藤 誉

## 名古屋工業大学創立100周年記念事業 募金のお願い

名古屋工業会から案内が送付された方もおられることと思いますが、改めてお願い申し上げます。お願いの趣旨は別紙をご参照下さい。

振込先

- ・銀行振込 U F J 銀行鶴舞支店 普通 3591409 口座名義 名工大100周年事業社団法人名古屋工業会
- ・郵便振込 00820-0-167044 加入者名 名工大100周年事業名古屋工業会